

環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事一般共通事項

留意事項

1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月厚生労働省・環境省）による。

2アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査

[9.1.1]

・行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定

[9.1.1]

・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
適用	レベル #1	レベル #2	レベル #3				
○	○	・		測定 1	処理作業室内	※ 各 2 点 ・ 各 3 点	
○	○	・		測定 2			
・	・	・		測定 3	処理作業室内	各 2 点	
○	・	・		測定 4	セキユリティーゾーン入口	各 1 点	空気の流れを確認
○	・	・		測定 5			
○	○	・		測定 6	施工区画周辺又は敷地境界	4 方向各 1 点	
○	○	・		測定 7	処理作業室内	各 2 点（レベル #3 は 1 点）	
○	○	・		測定 8	施工区画周辺又は敷地境界	4 方向各 1 点	
・	・	・		測定 9	処理作業室内	各 2 点（レベル #3 は 1 点）	
・	・	・		測定 10	施工区画周辺又は敷地境界	4 方向各 1 点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
メゾレンフィルの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さ×直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）

エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

47レベル含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹き付け材の除去

[9.1.3]

・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん捕フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹き付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

57レベル含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去

[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

67レベル含有成形板類の撤去（レベル3）

1アスベスト含有成形板の除去

[9.1.5]

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去

・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

<参考>石綿使用有無の事前調査フロー

（1）設計図書による調査

① 施工年による調査

② 使用建築材料による調査

可能性あり・不明

（2）現場目視による調査

目視調査（建材の確認）

可能性あり・不明

分析を実施しない場合

石綿含有とみなす

石綿使用あり・届出要件確認・届出

分析を実施する場合

（3）分析調査による判定

JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有0.1%を超えていると判断

石綿含有0.1%以下と判断

石綿使用なし

可能性なし

可能性なし

秩父荘入浴設備改修工事

設計図

電 気 設 備 特 記 仕 様 書（2）

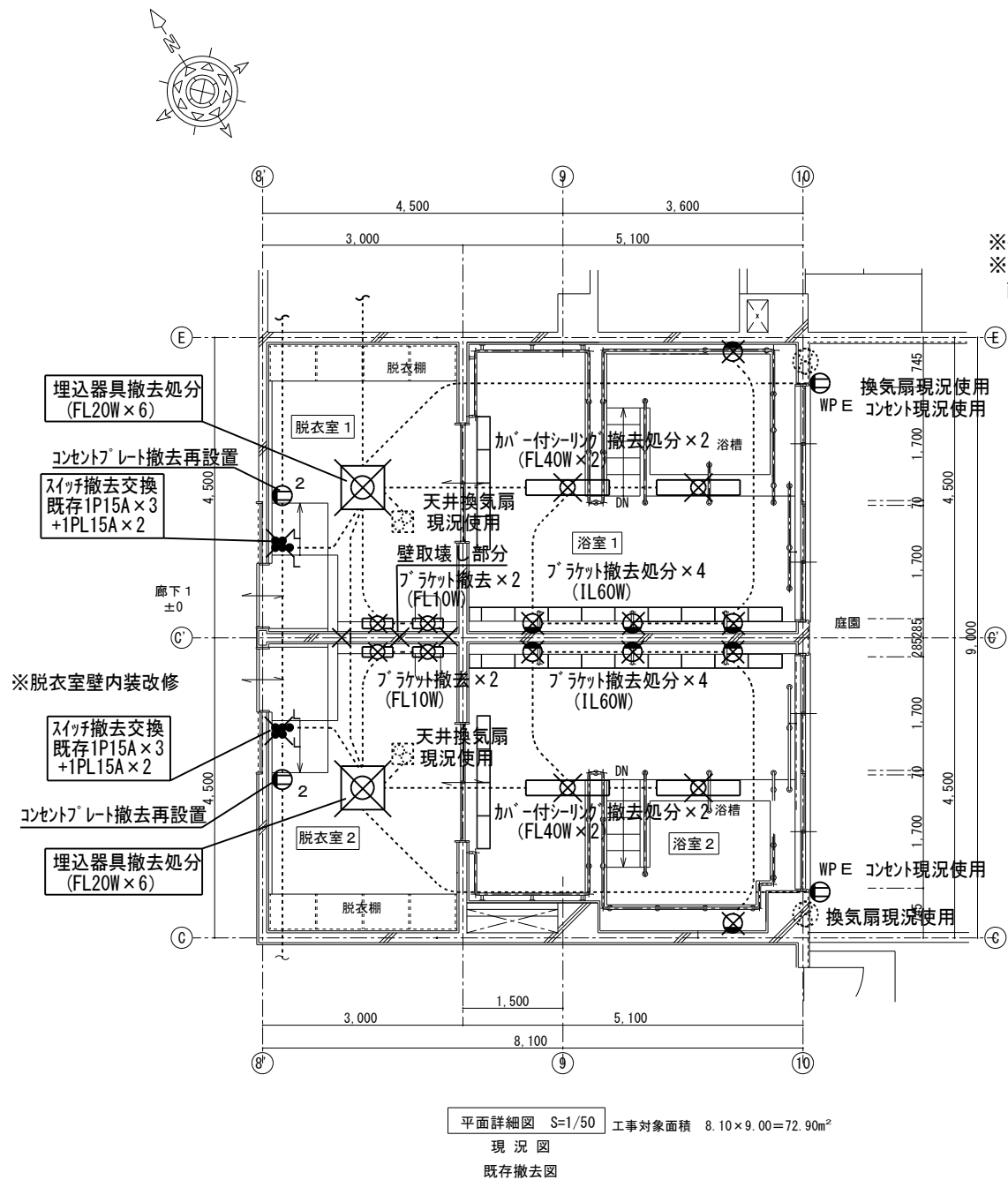
縮 尺

株 式 会 社 丸 岡 設 計

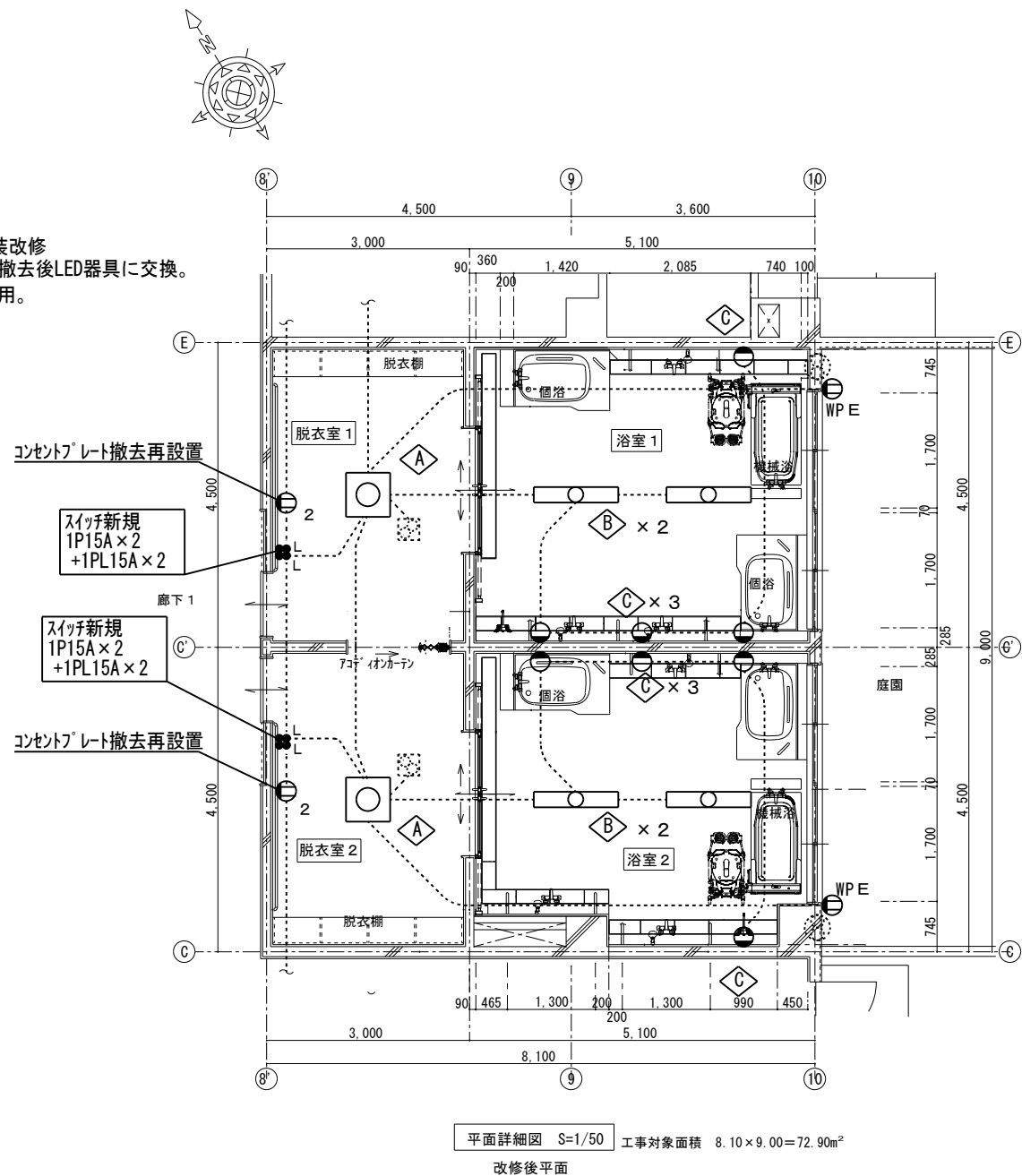
一 級 建 築 士 登 録 第 107399 号 二 宮 和 夫

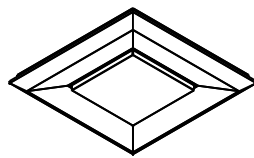
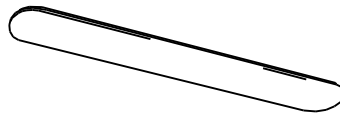
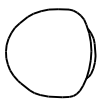
所 長 主 査 設 計 日 附

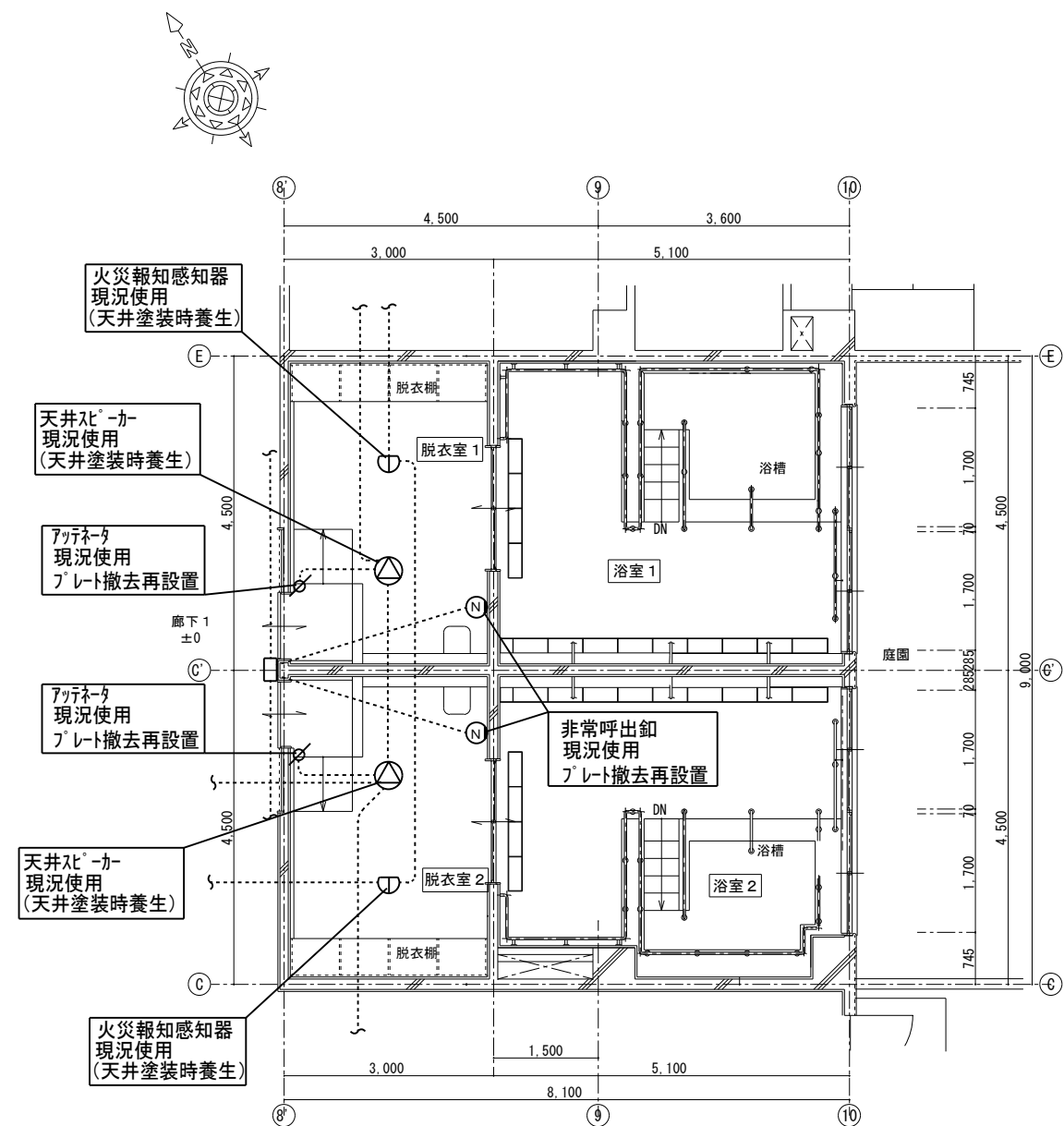
NO. E - 0 2



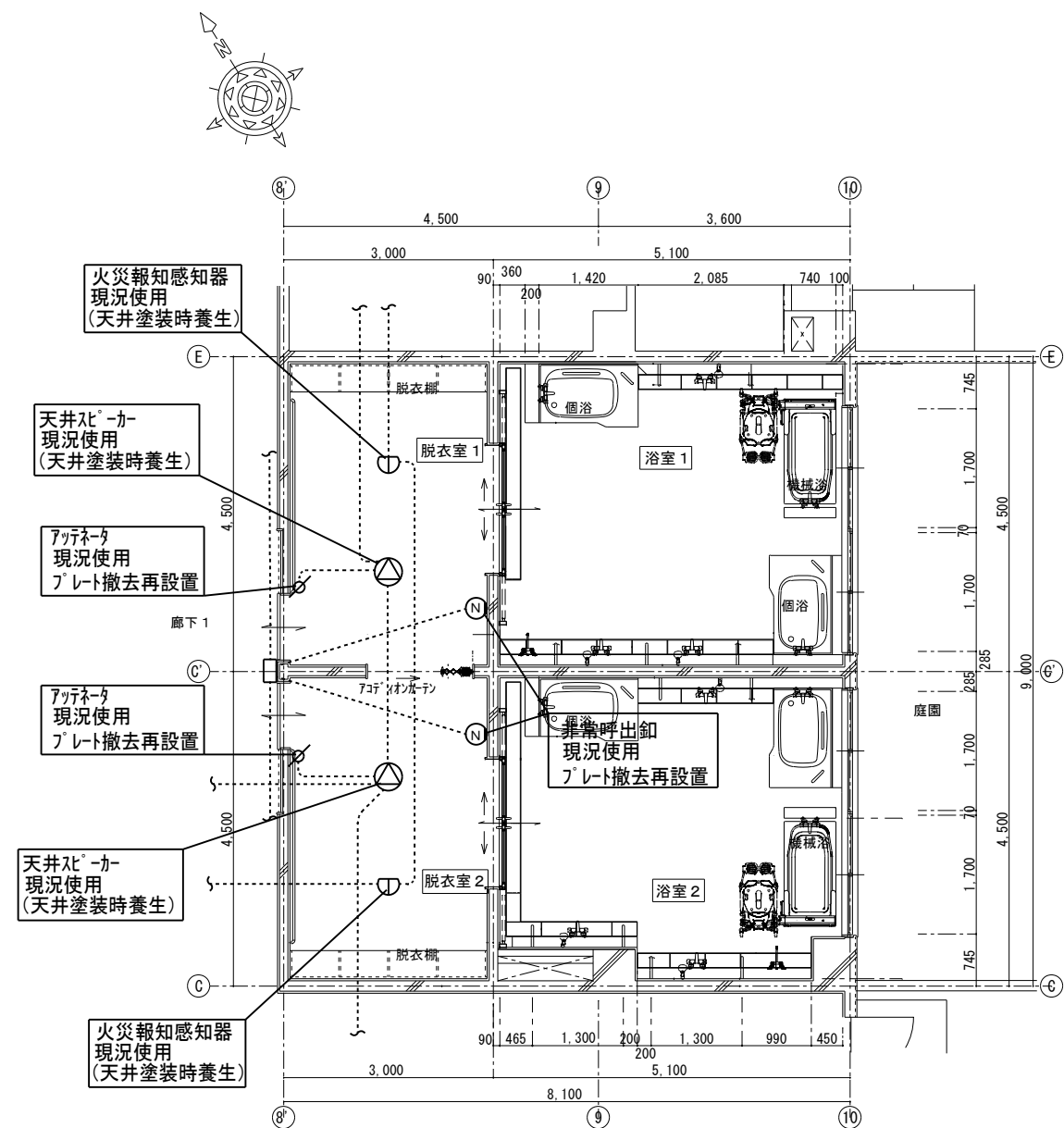
※壁仕上改修 天井塗装改修
※既存蛍光灯照明器具撤去後LED器具に交換。
配線配管は原則再使用。



照明器具姿図（新規設置）					
A	LEDスクエアベースライト	B	LDL40W×2 業務用浴室灯	C	浴室 防湿ブラケット
	直付型 □570		5320lmタイプ 消費電力62W		
	9000lmタイプ 消費電力56.3W		壁面（横向きのみ）・天井面取付兼用		器具光束696lm、消費電力7W
		適合ランプ：直営LEDランプ、素材：ガラス 			
点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 直付XLX190AENLA9		本体：ステンレス（ホワイト） グローブ：アクリル（乳白） NNFW42500KLE9		防湿型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白）、（ホワイト） LGW85017U	



平面詳細図 S=1/50 工事対象面積 8.10×9.00=72.90m²
現 況 図
既存撤去図



平面詳細図 S=1/50 工事対象面積 8.10×9.00=72.90m²
改修後平面